

青山まちづくり

4号

2013年10月19日

発行 / 青山地区
まちづくり協議会

青山夏まつい 赤しんが祭り が開催されました!

梅雨の晴れ間が広がる7月20日、盛岡ふれあい覆馬場プラザで青山夏まつり・赤しんが祭りが開催されました。



梅雨の晴れ間が広がる7月20日、盛岡ふれあい覆馬場プラザで青山夏まつり・赤しんが祭りが開催されました。

生の皆さんの手伝いもあり、実際に遊んでもらう子ども用の目線で準備することができました。

10時の開会セレモニーには名誉館長の三浦わたるさんにも参加して頂きました。セレモニー終了と同時に会場は待ちかねたように多くの参加者で溢れ賑やかなまつりになりました。



広場には、青山地区商店会・朝市会・おやじの会・ベアレンビールの屋台等が軒を並べ、自



慢の商品や腕によりをかけた商品を賑やかに販売。終了時間前に「売り切れ」になる屋台があるほどでした。月が丘小学校の皆さんは、自分たちで栽培したキュウリを破格の値段で販売してました。その売り上げは、

東日本大震災で被災した小学校に寄付されるとのこと、あつという間に売り切れ。汗だくになりながら一生懸命に販売した心は、きつと被災した小学校に届くものと確信しています。

会場の一角にはトイズさんの協力力でキッズコーナーも設けられ、ゲームに挑戦。お目当ての賞品獲



得に懸命な子どもたちの姿を見ることができました。

覆馬場に相応しく、チャグチャグ馬ツコが今年も来てくれました。恐る恐る触れた途端に馬ツコが動きびっくりしたり、優しい目に



笑顔を見せる子どもたち。普段は見ることの少なくなつたチャグチャグ馬ツコに直接触れることによって、地元の伝統文化や生き物と触れる機会ができたことは、有意義なことだと思



交流棟では「手作りオモチャ」紙芝居に人が集まりました。使い終わった牛乳パックを使った、

跳ねるカエル作りは少年指導員の方々がお手伝いしてくれ子どもたちに作り方を教えてくれました。完成したカエルが飛び跳ねる姿を見て、満足そうな「作者」の自慢げな顔が交流棟に溢れました。与えられる物で遊ぶ機会が多い今、自分で遊び道具を作る楽しさを感じてくれたのではないのでしょうか。最近では



少なくなつた紙芝居の前には、子どもたちだけでなくお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん

人までもが列を作り、昔を懐かしむかのように聞き入っていました。

アリーナでは、健康相談・体力測定が国立病院機構盛岡病院とスポーツ振興事業団の協力で行われました。運動不足でお腹回りが気になる年齢の方の受診や挑戦が多いのかと思いきや、



小学生・中学生の姿が多く見られたのは少し意外でも、楽しんでるらうのに年齢は関係ありません。

今年初めての挑戦だった「迷路で遊ぼう！」は大盛況。はじめは通路の幅やコースの設定に一抹の不安もありましたが、やはり子どもたちは遊びの天才。作った大人の思惑をもとめせず自由に、そして自分たちが遊びやすいように解釈し楽しんでくれました。

計画した大人の頭が少し「迷路」になっていたのかもしれない。迷路の大人気は安全のために見守りも含め協力してくれた、青



山地区婦人防火クラブの方々の協力のおかげです。



午後は、コンサートが参加者の心を癒してくれました。紙面で音色をお聞かせできないのが残念です。

演奏して下さったのは、青山小学校金管バンド、厨川中学校コーラス、厨川中学校ブラバンド、Kumore & その仲間たちのみなさんです。

来館者3万人を記念するセレモニーには忙しい中、谷藤盛岡市長にも参加して頂きました。



ふれあい覆い馬場プラザは、昨年6月に盛岡市の指定管理を受けて以降、手探りで運営をしてきまし

た。予定より早く今年5月15日に来館者3万人を達成することができたのは、地域の皆さんの協力があったことです。記念する3万人目の来館者は、アルテンハイム青山の皆さんで、谷藤盛岡市長から感謝のメッセーが贈られたほか、花束・記念品が贈呈されました。

楽しい時間の過ぎるのは早いもので、あっという間に終了時間。多くの皆さんの協力と、そして何よりも会場に来て楽しい時間を過ごしてくれた地域の人たちの力によって、二つの祭は成功のうちに終了することができました。これからも地域の皆さんの協力を頂きながら、多くの方々に気軽に、楽しく利用してもらえらる「ふれあい覆馬場プラザ」にしていくために努力していきたいと考えています。



楽しく学ぼう 青山親子 防災防火教室



7月15日、午前9時30分より盛岡ふれあい覆い馬場プラザで「楽しく学ぼうー青山親子防災防火教室」が開催されました。この教室は普段から地域の防災意識を高め、防災や減災を学ぶことを目的に青山まちづくり協議会と青山地区婦人防火クラブの共催で開催されたものです。当日は、消防はしご車や救急車の展示、炊き出し訓練、青山地区婦人防火クラブの皆さんによる防災紙芝居の他、地域少年消防クラブの活動報告、初期消火訓練や防災用具の展示、防火衣の着身体験と沢山のプログラムの準備され盛岡西消防署と盛岡市消防団第17分団の協力も得

てスムーズに進められました。参加した子どもたちは、はじめて見る消防はしご車や救急車に乗り込んで見学したり、実際に防火衣を着てホースを握って見たりして消防の仕事を身近に感じていました。東日本大震災の経験から、防災や減災に対する必要性が重要視されてきています。地域や学校などでもいろいろな取り組みが行われており、少しずつ関心は高まっていると感じます。その中で、消防車や救急車に触れることによって楽しみながら防災・減災に対する意識を養うことができたことは、有意義な取り組みだったと思います。

今年度事業計画

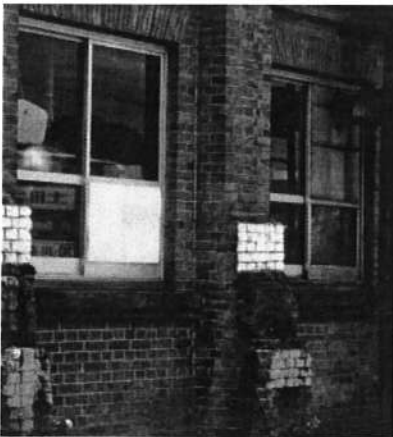
- (1) あいさつ運動推進事業
小・中学校を対象としたあいさつ運動を実施。標語等の募集を行い、入選作を公共施設で掲示する。
- (2) サロン設置事業
盛岡ふれあい覆馬場プラザを活用して、地域住民が気軽に集まり、情報交換する場としてのサロンを開設する。
- (3) イベント開催事業
地域の住民等の交流のため、桜まつり(4月)、夏まつり(7月)、雪あかり(2月)等のイベントを定期的に開催。指定管理事業と一体的に実施する他、地域内の各種団体と連携して実施する。なお『青山桜まつり』は前年度実施したワークショップ結果からの新設のイベント。
- (4) 情報発信事業
青山地区まちづくり協議会の活動を広く周知するため、ホームページや会報を活用した情報提供を行う。
- (5) 安全なまちづくり事業
青山地区まちづくり協議会が実施する地区防災訓練に参加する他、防災・減災について学ぶ機会を提供する。
- (6) まちづくり計画充実事業
まちづくり計画や事業計画の充実のため、ワークショップやまち歩きを通じて、多くの地域住民の意見を反映させる機会を作り、課題の発見に務める。

みんなあつまれ 子どもまつり開催!

あいさつ運動の標語募集には520通の応募がありました。この日、入選作を発表、表彰します。その他に

厨中北梅太鼓「青嵐」
合唱
金管バンド
スピーチ
…等、ステージがあります

10月27日(日)
10:30 ~ 12:00
ふれあい覆馬場プラザ



青山覆馬場と同じ『煉瓦造りの覆馬場』が旭川市にもあります。民間のバス会社が工場として大切に使用しているものを見学させていただきました。

窓の形などがちよつと違いますが、よく似ていますよね。

(企画広報部会 伊勢志穂)



朝市に いらっしゃ〜い

今年度の朝市の状況

昨年からは始まった『赤レンガ朝市』。今年度からは基本的に第1・第3土曜日の6時〜8時30分にふれあい覆馬場のアリーナに於いて開催されています。

最近の出店は、野菜や生花、お菓子などの17店舗前後で、4月〜9月までに行った13回の来

客人数は2, 236人となっています。

朝市は地域の方々の交流に役立つことから、未永く続けていきたい事業です。これから冬に向けて、天候に左右されない会場ですので、開催日にはぜひ、のぞいてみてください。



出店者募集中!

現在『赤レンガ朝市』に出店いただける方を大募集しています。野菜・果物・鮮魚・惣菜・生花・パン・軽食、あるいはフリーマーケットなど、店舗を経営していない方も大歓迎です。

出店料、1ヶ月2千円、年間登録料1千円、年間運営協力金6千円です。お試し出店が2回まで出来ますので、お気軽にお問い合わせください。

電話 019・643・3088

みんなの力を集めて、一緒に楽しい青山地区を作りましょう



青山まちづくり協議会では、今後の活動を進めるために事務局のお手伝いをしてくださる方を募集しています。文章や絵を描くのが好きな方、「お祭りになると燃える」という方、人とお話をするのが好きな方などなど、ぜひ事務局までお声がけください。

会報の名称を募集しています! ひらめいたら事務局までご一報を

青山地区まちづくり協議会

盛岡市青山2-6-8 (盛岡ふれあい覆馬場プラザ) 電話・FAX 643-3088